

40. 7. 5 発行
 発行人 船木長一郎
 編集人 船木長一郎
 庶務課 第二係
 印刷人 船木長一郎
 佐呂間 印刷

世帯数 2,880
 人口 13,332
 男 6,712
 女 6,620

5月末日住民登録人口

記念式典盛大に行われる

開基七十周年
 開町五十周年
 合併十年
 新築落成

町内外関係者五〇〇余名

六月三十日、町内外から多数の来賓を迎えて、歓びのうちに、開基七十周年、開町五十周年、町村合併十年、庁舎新築落成の記念式典が、佐呂間小学校で盛大に行われました。

回顧しますと本町は、とう沸村

と称し、明治十六年常呂浜に、常呂村外六ヶ村戸長役場が置かれましたが、当時は現在の浜佐呂間附近に僅かのアイヌ人の片影を見るに過ぎず、山野は依然として茫漠寂寥として原始の姿を止めておりましたが、明治二十七年に、鈴木



佐呂間町役場新庁舎



記念式典

甚五郎氏が始めて浜佐呂間に定住し、漁業の傍ら農業を営み、こゝに和人最初の開拓の一頁がきざまれ、今日本町発展の開基の年とされております
 爾来和人の定住者相ついで入植を見るに至り、千古斧を知らぬ未開の荒地に、オホツクの海に偉大なる先人の苦闘と共に開発されたのであります
 特に明治四十年頃より豊富な森林資源等の恵まれた好条件により、開拓は急激に促進し、明治四十三年末には、戸数五百余戸に達しやゝ農村としての形態も整い、主要な部落には、運輸、通信、教育等

の設置を見るに至りました。
 かくて部内住民の要望により、大正三年四月には、佐呂間市街にとう沸村戸長役場が設置せられ、更に翌四年、二級町村制施行、同年十一月町名を、佐呂間と改称し、こゝに本町自治の輝かしい発足を見ました。
 以来五十年の星霜を経て幾多の困難に遭遇しながら、それらの時代における理事者を中心として町民挙つての熱意は、漸次懸案を適切に処理し、特に望望久しきに亘つた、湧網西線は昭和十一年開通を見るに至り、昭和十八年一級町村制施行、昭和二十二年には佐呂間営林署が設置され、翌二十三年四月旧若佐村を分村統いて、昭和二十五年湧別町床丹部落一七六戸を編入、超えて昭和二十八年湧網線の全通を機として、町制を施行し、更に昭和三十一年サロマ川の清流を背景とする地域住民が再び大同団結をなし、旧若佐、佐呂間を合併、こゝに十年の才月を算した次第です。

高等学校の道立移管、中小学校の改築、六〇〇余戸に上る農村電化、国有林買受を主体とする七千七百余町歩の町有林計画経営、更に昭和三十一年より着工した、町営草田開発事業等行政各般に渡り住民の信託に応えらるる自治の姿勢が確立されつゝあります。
 更に此の意義深い年を迎えるに当り、狭隘のため住民に不利不便をかけておりました役場庁舎が関係各位の御高配により、新築落成を見ることが出来ました。
 此の新庁舎が町民の福祉増進の基地として、その任務を果たし益々発展することを確信致します

国保税の納期限は——
 7月 25日 限りです

… 忘れずに納めましょう …

(毎号綴じて保して下さい)

招魂祭 おごそかに

行われる

戦没者 二二三柱

日露戦役以来、第二次大戦の間、佐呂間町より勇躍壮途につき、遂に帰らざる神となつた二百三十三柱の御玉を祀つた、合同慰霊祭が六月二十五日、晴れ渡つた夏空の下、佐呂間神社境内で壮厳に行われました。

此の日遺族の方は早朝から殆んどの方がお参りになり亡き父、子、



招魂祭



音楽隊パレード

工費 七百七十五万円

公営住宅建設事業

KK岸組に決る

本年度、公営住宅建設事業として町ではいり／＼中央え接衝の結果十八戸の枠が決り、予算を計上しておりましたが、そのうち十二戸の着工が承認となり過日、町内外の業者で入札の結果、永代町株式会社岸組に決定し施工することになりました。

場所は西富岡地で、工期は約三ヶ月の予定で、竣工は大体、九月末日の見込です。

尚現在迄の公営住宅建設戸数は次

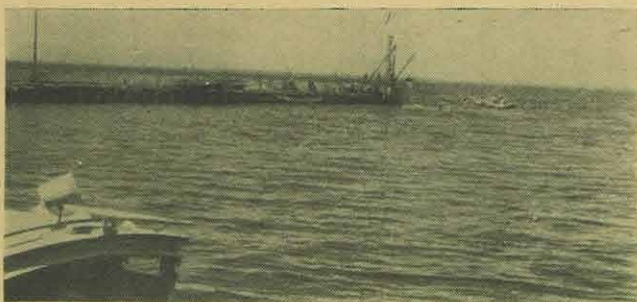
◎富士漁港改修工事 進む

予算 千、二十万円

東急建設KK

はたて、かきの養殖等また観光地としても近年とみにクローズアップされて来ましたが、富士漁港も年々整備されておりますが、昭和二十八年道費補助事業として防波堤建設に着手以来、護岸工事のべ延長七四六米防波堤のべ延長一五五米を完成しオホツク沿岸の漁港としてその責を果しておりますが、本年度は更に停船安定の港内防波のため北防波堤を十五米延長することになり、道費の補助を得て目下東急建設の手で着々整備されております。

完成は九月末頃の見込で、定成の眺には、更に一段の飛躍が望まれております。



防波堤延長工事

の様になつております。												組に決る		建設事業		円
永代町		北		富武土		浜佐呂間		西富		若佐		栄		計		
一種		二種		二種		二種		二種		一種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸		八戸		一七戸		二戸		
二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		二種		
二〇戸		一〇戸		四戸		四戸		四戸								

町長 欧洲農業先進国視察

北海道土地改良事業団 連合会より派遣さる

佐呂間町長、船木長一郎氏が此の度、北海道土地改良事業団連合会より全道十五名の中に推選され農業改良事業、寒地農業及草地改良、山岳酪農等視察のため約一ヶ月間、欧州十五国十九都市を巡回することになり、七月十二日羽田空港発オランダ航空のジェット機で一路アムステルダムへ向いました。帰町は八月中旬の予定です。

日程

七月十二日 東京
七、一三 アムステルダム
オランダの干拓事業視察

七、一四 アムステルダム
デルタプラン農業改良事業等視察
近郊の花根栽培を見学
七、一五 コペンハーゲン
市内見学
七、一六 コペンハーゲン
農業経営状況の視察試験場、典型的なヨーロッパ寒地農業の実態及社会補償制度の実施状況の視察研究農業関係機関訪問
七、一七 ストックホルム
七、一九 ハンブルグ
七、二〇 ハンブルグ商工業市場視察
七、二一 デュッセルドルフ

御挨拶

船木長一郎

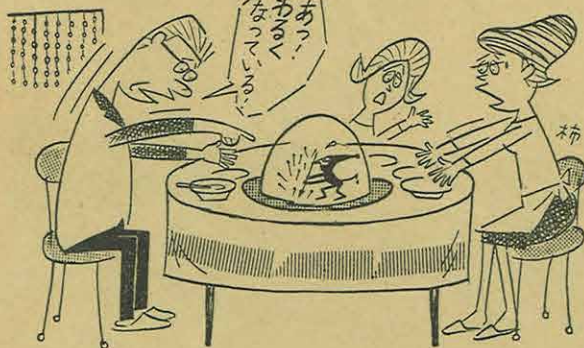
服出来る態勢を作り上げることが最も肝要だと思います。

町民各位には、御健で御精進のことと心からお慶び申し上げます。春以来、お互に心配しておりました天候も、只今の処では予想外の気象条件で、今後凡ゆる努力を積み重ねることにより、明るい豊稔の秋を迎える事が出来るのではないかと、心ひそかに期待をかけております。

特に只今の段階では、総ての作物の育成を、人為的に助成する為に早期に防疫を施し、除防を発病してから行なうことのない様、充分注意していただく事によつて、健全な作物が出来る上り、今後悪気象になつても克

紙上甚だ失礼ですが御礼々御挨拶申し上げます。

食べものは 早く 冷たく 清潔に



泥炭地、山岳酪農、草地改良及ビート栽培状況視察
七、二二 フランクフルト商業状況視察
七、二三 パリ市内観光
七、二四 パリ 近郊の農業事業視察特に畜産、農機具の研究
七、二五 ノルマンディー 農業改良状況視察
七、二六 ロンドン
七、二七 ロンドン近郊の農業及産業視察研究市内観光
七、二八 ロンドン 農業視察
七、二九 農業試験場等訪問
七、三〇 チュリッヒ
チュリッヒ近郊の山岳酪農、草地改良等を視察、山岳地方の自然美を鑑賞
七、三一 ローマ 市内観光
八、一 ローマ 終日イタリアのかんがい施設、水稻栽培、ビートの耕作状況視察
八、二 ナポリ イタリア南部のビート、水稻作付状況を視察
八、三 ローマ ナポリの観光
八、四 アテネ 市内観光
八、五 アテネ ギリシャの農業状況の視察
八、六 カイロ 砂漠緑化事業視察及びカイロ市内観光
八、七 カラチ 農業事情視察
八、八 カラチ 農業視察
八、九 デリー インドに於ける米作及農業事情視察
八、一〇 パンコック 水稻栽培デリーの市内及び近郊の見学
八、一一 ホンコン 煙作農業視察及市内視察
八、一二 ホンコン 農業流通機構視察 市内観光
八、一三 タンペイ 水稻栽培農業試験場視察台北大学農学部訪問
八、一四 タイペイ 東京

派出所だより

水難事故を なくしましょう

今年もまた、水に親しむシーズンとなりました。昨年北見管内で、海や川、池等でおぼれ死んだり行方不明になった人は、二十七名（全道では三三五名）もいました、この様な事故を防ぐために次のことを守りましょう。

- ①子供を一人で海や川、池等にやらぬこと。
- ②家のまわりの池等には柵等をつくり、防護措置を講ずること。
- ③疲れた時は決して、水に入らぬこと。
- ④万一おぼれた人を見つけたらすぐまわりの人に呼びかけ、協力を求めること。
- ⑤危険区域の場所と指定されているところでは絶対泳がぬこと。
- ⑥その他、水に入るときは準備運動等は、年上の者が進んで実施すること。

道路や河川はみんな 愛護しましょう

七月十日から、八月九日までの一ヶ月間は「道路と川を守る月間」です。道路は、日常の生活になくてはならないもので、わたくしたちみんなの財産ですから、大切にし、ゴミをすてたり、勝手に物置場にしたりすることのない様に努めましょう。

また川は災害の度にその恐しさを思い知らされ、昔から「水を治めるものは国を治める」と云われる様に、川は私達の日常生活に欠く

◎参議院議員選挙の 部落別投票率

七月四日行われました参議院議員の投票の部落別の投票率が解りました。これを参考にされまして次回からは、もう少しよい成績を上げる様心掛けましょう。

また総支庁管内二十三ヶ町村の中では当町は十六番目でした

(1) 富	八六、七五%
(2) 浪	八二、六七
(3) 啓	八二、二〇
(4) 祈	七五、一一
(5) 峴	七〇、八一
(6) 佐呂間	六七、九七
(7) 仁倉	六六、九一
(8) 富武士浜	六四、三六
(9) 富武士	六三、三二
(10) 浜佐呂間	六三、二一
(11) 北	六三、〇、八
(12) 若里	六二、六三
(13) 知来	六二、四四
(14) 大成	六二、三〇
(15) 武栄	六〇、七八
(16) 共立	六〇、二三
(17) 朝日	五九、〇六
(18) 若里	五八、九七
(19) 平均	六五、三五

適期農作業を進めましょう

七月の農作業

◎普及所だより

六月中旬からの好天に恵まれ、心配された作況も平年並に近ずき、農家の笑顔も少しずつ見受けられる今日此の頃ですが、長期予報は冷害年とは云えないが、決して油断の出来ない年だと警告していき

すので、一時的な晴天に気をゆるめる事なく、慎重な適期農作業が大切です。

1 水稲

(イ)、春先の天候が悪く田植もおくれ、さらに長期予報を考えながら本田の施肥については、相当慎重に行われ、平年に比べると窒素質肥料は随分控えた水田が多いはずである。だが切角控えて安全性を考えた施肥であつても、少し天候のよい日が続くと、今年は豊作になるのではないかと、施した肥料では不足でないかと考え、硫酸、尿素、硝酸など窒素質肥料の追肥を行いたくなるのが農家の気持である。だが本町の稲作は、七月中旬から八月にかけての天候に大きく支配され、それに対処する管理の上手下手は収穫に、大きな影響を及ぼすものである。

田植後、よい天候が続くと、七月始め頃迄に分肥を行う人が多いが冷害の様相はこの頃から始まると云えるので、作況の見通しの立つ頃になつて分肥をする様にしなければ、災害を招く危険が多くなる。

(ロ)、肥料分肥の時期は稲の最高分けつ期に行なう。

稲の生育中の施肥は、茎の地際に小さい穂が出来始めた時、幼穂形成期(安全カミソリで茎の基部の中心部が出る様に、そいで見た時二粒程度の粟粒大の穂が見えた時)この頃は、分けつが盛んに行われており、株が最も大きくなる時期(最高分けつ期)は、これより五日〜一週間後くらいになるのが普通である。そして、この最高分けつ期に達した頃から、上葉の出始める頃迄の間が、冷害にかかりやすい時期になり、この時期にC一五度以下の低温になると、実入りしない(不穂)ものが多くなり障害型冷害にかかるのである。したがって此のころは少くとも十五粒程度の深水にして、幼穂を低温から守る必要があるし、施肥の面では此のころの天候が順調でこの時期での冷害を受ける心配がなく、稲の生育も順調で多収を期待してもよいと考える時は、残しておいた肥料を施してもよい。この時期は七月二十日頃から三十日近くになるので早まらない事が大切である。

亦暗渠排水の水こうや、排水の水門は七〜十日ごとに開いて、地表水が地下に浸透しやすい様にする

イ、除草
除草機を使用する場合は、十日又は十五日頃迄とし、除草後水中M

CP、二五〇gを幼穂形成のころ散布する。

(註)除草剤の使用法については水田の状態、雑草により違うので

営農改善資料四一頁を参照のこと

(二)、葉いもち病、バイムシの早期発見につとめ、直ちに防除を行なうこと。

2 馬鈴薯

培土は必ず着霜期までに終らせ油虫と疫病の防除は、七月十日までに第一回を終らせ、第二回目は開花最盛期、第三回目は開花終りに行うこと。

3 甜菜

(イ)害虫の防除

アカザモグリハナバエの産卵したのが、葉のうらに多く見受けられ多発の傾向にあるので、七〜十日置きに、ED水和剤(三共ミツク)を二〇アール当り一回目四〇〇瓦水四〇ℓ、二回目五〇〇瓦、水五〇ℓ、三回目六〇〇瓦水六〇ℓ散布、亦オトウムシの防除には、DDT水和剤一五〇〜二〇〇瓦を水一〇〇ℓで散布する

七月終期以降のオトウムシかつばん病の同時防除をする場合はスズミツク一〇〇瓦、水一〇〇ℓを散布すること。

4 結球白菜の種蒔き

さるまの場合の播種期は、七月十日〜十三日頃までに種まきしたものが良い様である、根こぶ病、株くされ病などの被害のおそれがある

るので連作を避け、三、四年あぶらな科の作物を作らない畑の輪作とする。なお株くされ病(軟腐病)には完全な防除法はないが一般には、ストマイ(農業用)四〇〇倍液を、発芽後二週間以内一回撒

布、又は銅水銀剤五〇瓦、水二〇〇ℓを発芽後一週間おきに、二回散布する。

その他、石灰窒素を植穴に施用すると効果がある。

5 油虫の防除果樹

果樹(梨、スモモ)を菜(キヌウリ、ウリ、スイカ、その他)薬剤、マラソン、バイジェット、EPN一〇〇〇倍使用

硫酸ニコチン、八〇〇〜一二〇〇倍液散布
硫酸ニコチン、二〇〇C、石けん三〇瓦、水一〇ℓ散布
註、硫酸ニコチンには石けんを加用しないと薬効がない。

◎九月十七日に決る

町議会議員選挙投票日

七月二日開催の佐呂間町選挙管理委員会(委員長杉本誓)では次回に予定されている任期満了に伴う町議会議員選挙の投票日を協議の結果九月十七日(金曜日)に決定致しました。
随つて告示は九月十日頃になります。

生活の工夫

海藻をもつと食べましょう

全国でもつとも長生きをしている人がいる長寿村の食生活を調べて見ますと、必ず海藻をたくさん食べています。
海藻に含まれているビタミン、ミ

ネラルが総合的にはたらいで、新陳代謝を活性化して血管が硬くなるのを防ぎ、血圧を下げます。

海藻類はカロリ―は低いのですがビタミンやミネラルが豊富で特に甲狀腺ホルモンをつくるのに大事なヨ―ドを多く含んでいます。要するに海藻は健康と若さとスタミナをつけるすばらしい食品と云えましょう。

若芽、青のり、あさくさのり、とろろこんぶ、ひじき、まいこんぶ等もつとものと食卓に現われて欲しい食品です。
これから農繁期を控えてエネルギーに乏しくなつて特に食生活に工夫がほしいものです。

◎町税の収納状況

此の程三十九年度の町税収納の結果が出ました。
これは三十八年に比べて一般税で〇、七二%国保税で〇、六四%ばかり伸びております。この内容は次の通りです

(単位千円)			
税目	調定額	収入額	納入率
町税	12,290	12,228	99.49%
町民資産税	1,895	1,893	99.89%
町民資産税	15,995	15,713	98.23%
町民資産税	8,036	7,801	97.06%
町民資産税	5,519	5,519	100.00%
町民資産税	1,987	1,987	100.00%
町民資産税	7,108	7,108	100.00%
町民資産税	4,209	4,209	100.00%
町民資産税	1,260	1,232	97.77%
町民資産税	50,263	49,889	99.25%

若佐老人クラブえ 壹万円寄附

(中国 香川嘉太郎氏)

中国東部香川嘉太郎氏の母堂が、先月亡くなられましたが、なき母の供養と、若佐老人クラブ慰安の助成にと、金壹万円を寄附されました。

浜佐呂間幼稚園え オモチヤ寄贈

佐藤礼子さん

浜佐呂間診療所へ勤めておられる佐藤礼子さんは客月病気をされ全快されましたが、その時の見舞金を寄贈され、園児、保母さん達から大変喜ばれました。

(各種作物関係試験圃)

今年町内に於て設置した。各種作物の試験、研究、展示圃は次の場所にて実施しているので参考にして下さい。

◎牧草、デントコーン試験圃設置者

牧草の部

一、牧草の草種組合せ及増肥試験
町内大成 知来 五味元右衛門 高井 勝彦

二、高度化成肥料試験

登加呂地 野原 村明 雄雄夫

三、牧草品種展示圃(継続)

デントコーンの部
一、デントコーン津決定地事業
仁倉 津田 兄一

二、デントコーン適品種確認試験
中園 富武士 相原 栄喜美

「広報さろま」は町政のいろ／＼なことを知っていただくため、毎月一回発行し、自治会長を通じて金世帯に配付しております。みなさん、建設的な御意見お質問は庶務課庶務へお寄せください。